

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-026041

(43)Date of publication of application : 25.01.2000

(51)Int.Cl.

B66B 7/00

B66B 7/02

(21)Application number : 10-197317

(71)Applicant : MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing : 13.07.1998

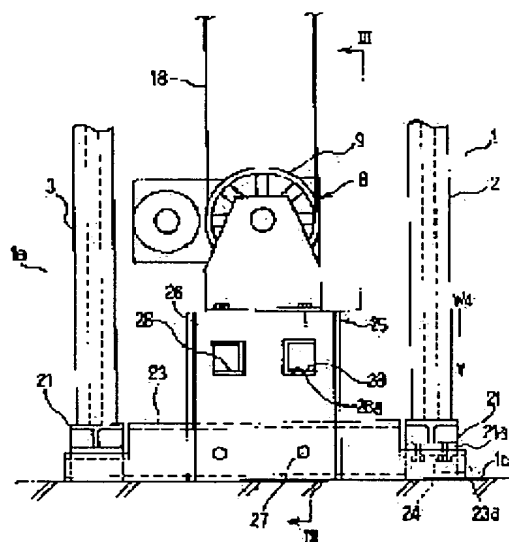
(72)Inventor : ANDO EIJI
OKAWA TAKEYA

(54) ELEVATOR DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obviate the necessity for increase of the strength of a floor by receiving the upward force to be applied from a hoist to a support base of the hoist by a rail support beam to support a guide rail.

SOLUTION: A pair of rail support beams 21 to be installed parallel to a pit 1a of a hoistway 1 are fixed to a floor surface 1b by anchor bolts. A pair of car guide rails 2 and weight guide rails 3 to guide the elevating/lowering operation of the car and the weight are installed with intervals on the rail support beams 21. In addition, a plurality of receiving parts 21a to receive the upward force to be applied to hoist fitting beams 23 parallel to each other are coupled with the rail support beams 21 at a coupling part 23a through a tightening piece 24. Hoist support bases 25 to support a hoist 8 are fixed to the hoist fitting beam 23 parallel to each other by a tightening piece 27. When the upward force is applied to the hoist 8, the force is transmitted to a receiving parts 21a of the rail support beams 21 through the hoist support bases 25 and the hoist fitting beams 23.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

05.12.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-26041

(P2000-26041A)

(43)公開日 平成12年1月25日(2000.1.25)

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テマコード(参考)

B 6 6 B 7/00

B 6 6 B 7/00

C 3 F 3 0 5

7/02

7/02

G

J

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平10-197317

(22)出願日 平成10年7月13日(1998.7.13)

(71)出願人 000006013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(72)発明者 安藤 英司

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三

菱電機株式会社内

(72)発明者 大川 剛矢

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三

菱電機株式会社内

(74)代理人 100057874

弁理士 曾我 道照 (外6名)

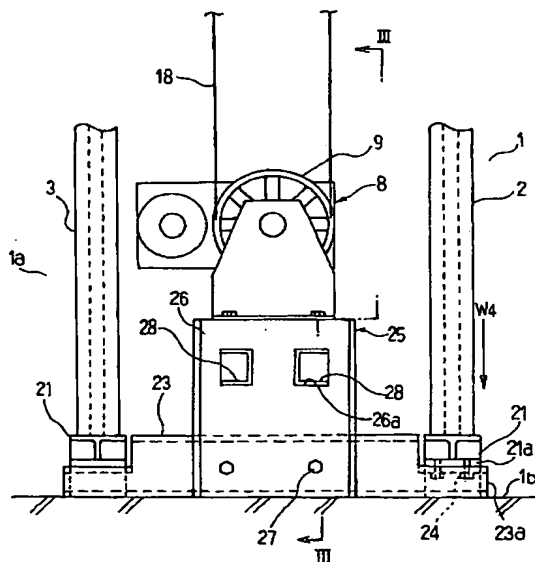
Fターム(参考) 3F305 BA03 BA15 BB19 BD08 CA02
CA08

(54)【発明の名称】 エレベータ装置

(57)【要約】

【課題】 本発明は、ピットの床面に引き抜き力を作用させることなく、巻上機をピットに設置することを目的とするものである。

【解決手段】 巻上機8から巻上機支持台25に作用する上向きの力を、ガイドレール2, 3を支持するレール支持梁21で受け、レール支持梁21に伝えられた上向きの力を、ガイドレール2, 3に作用する下向きの力により相殺するようにした。



- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1: 昇降路 | 9: 綱車 | 23a: 結合部 |
| 1a: ピット | 18: 主ロープ | 25: 巻上機支持台 |
| 1b: 床面 | 21: レール支持梁 | 26: 支持板 |
| 2: かごガイドレール | 21a: 受け部 | 26a: 開口部 |
| 3: 曳りガイドレール | 23: 巻上機取付梁 | 28: 支持梁 |
| 8: 巻上機 | | |

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 昇降路のピット内に設置されている巻上機支持台、

この巻上機支持台上に設置され、回転可能な綱車を有する巻上機、

上記ピット内に設置され、上記巻上機から上記巻上機支持台に作用する上向きの力を受けるレール支持梁、

このレール支持梁上に支持されているガイドレール、

上記巻上機の駆動により、上記ガイドレールに案内されて上記昇降路内を昇降する昇降体、

上記ガイドレールにより支持されている回転自在の返し車、及び上記巻上機の綱車及び上記返し車に巻き掛けられ、上記ガイドレールに対して上記昇降体を吊り下げる主ロープを備えていることを特徴とするエレベータ装置。

【請求項 2】 巻上機支持台は、互いに対向してピット内に設置され、それぞれ開口部を有する一対の支持板と、両端部が上記開口部に挿入されている支持梁とを有していることを特徴とする請求項 1 記載のエレベータ装置。

【請求項 3】 巻上機支持台は、支持梁の上下面に対向し巻上機が固定されている固定梁と、上記支持梁と上記固定梁との間に介在されている弾性体とを有していることを特徴とする請求項 2 記載のエレベータ装置。

【請求項 4】 レール支持梁に結合される結合部を有し、かつピット内に設置され、巻上機支持台が取り付けられている巻上機取付梁を備え、上記レール支持梁には、上記結合部が結合される受け部が設けられており、上記結合部は、上記受け部の下に挿入されて上記受け部に結合されていることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 3 のいずれかに記載のエレベータ装置。

【請求項 5】 巻上機支持台は、上記レール支持梁に直接固定されていることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 3 のいずれかに記載のエレベータ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、巻上機及び返し車が昇降路内に設置されているエレベータ装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】図 9 は従来のエレベータ装置の一例を示す正面図、図 10 は図 9 の装置の主ロープの経路を示す展開図である。図において、1 は昇降路、2 は昇降路 1 内に互いに間隔をおいて設置されている一対のかごガイドレール、3 は昇降路 1 内に互いに間隔をおいて設置されている一対の重りガイドレール、4 はかごガイドレール 2 に沿って昇降される昇降体としてのかご、5 は重りガイドレール 3 に沿って昇降される昇降体としての釣合重りである。

【0003】6 は昇降路 1 のピット（底部）1 a の床面

1 b 上に固定されている巻上機取付梁であり、この巻上機取付梁 6 は、複数本のアンカーボルト 7 により床面 1 b に固定されている。8 は締結具 10 を介して巻上機取付梁 6 上に設置され、かご 4 及び釣合重り 5 を昇降させる巻上機であり、この巻上機 8 は、回転可能な綱車 9 を有している。11 は巻上機取付梁 6 と締結具 10 との間に介在されている振動・騒音防止用の複数の弾性体（防振ゴム）である。

【0004】12, 13 はそれぞれ昇降路 1 内の頂部においてガイドレール 2, 3 に固定されている綱止め部材、14, 15 はそれぞれ昇降路 1 内の頂部に設けられ、ガイドレール 2, 3 により支持されている回転自在の返し車、16 はかご 4 の下部に互いに間隔をおいて設けられている回転自在の一対のかご吊り車、17 は釣合重り 5 の上部に設けられている回転自在の重り吊り車である。

【0005】18 は一端部が綱止め部材 12 に、他端部が綱止め部材 13 にそれぞれ固定され、かご 4 及び釣合重り 5 を昇降路 1 内に吊り下げる主ロープであり、この主ロープ 18 の中間部は、かご吊り車 16、返し車 14、綱車 9、返し車 15 及び重り吊り車 17 の順に巻き掛けられている。19, 20 は主ロープ 18 の両端部を綱止め部材 12, 13 にそれぞれ固定するためのロープ端装置である。

【0006】このような従来のエレベータ装置では、巻上機 8 の駆動により綱車 9 が正逆に回転されることによって、かご 4 及び釣合重り 5 が昇降路 1 内で交互に昇降される。

【0007】このとき、巻上機 8 には、図 10 に示すような上向きの力 F が作用する。この上向きの力 F は、かご 4 の荷重を W1、釣合重り 5 の重量を W2、巻上機 8 の重量を W3 とすると、 $F = (W1 + W2) / 2 - W3$ で求められる。例えば、W1 を 1600 kg、W2 を 1300 kg、W3 を 300 kg とすると、 $F = 1150$ kg となる。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】上記のように構成された従来のエレベータ装置においては、巻上機 8 をピット 1 a に設置することにより、機械室が省略されているが、巻上機 8 に加わる上向きの力 F が巻上機取付梁 6 を介してアンカーボルト 7 に引き抜き力として作用するため、ピット 1 a の床面 1 b にはその引き抜き力に耐え得る強度が求められる。しかし、一般にピット 1 a の床面 1 b はコンクリートにより構成されているため、床強度には制限があった。

【0009】また、床面 1 b のコンクリート内の鉄筋（図示せず）にアンカーボルト 7 を溶接する方法もあるが、この場合、ビルの建築業者との事前の打ち合わせが必要であるとともに、建築コストが増大してしまう。

【0010】さらに、弾性体 11 が巻上機 8 と締結具 1

0との間に介在されているため、弾性体11の個数や大きさが、締結具10の本数や大きさにより制限されてしまう（例えば、締結具10が4本に制限される。）。このため、弾性体11の面圧を高く設定しなければならず、防振ゴムとしての十分な特性を出すことができなかった。

【0011】この発明は、上記のような問題点を解決することを課題としてなされたものであり、ピットの床面に引き抜き力を作用させることなく、巻上機をピットに設置することができ、また巻上機の防振性能を向上させることができるエレベータ装置を得ることを目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明に係るエレベータ装置は、昇降路のピット内に設置されている巻上機支持台、この巻上機支持台上に設置され、回転可能な綱車を有する巻上機、ピット内に設置され、巻上機から巻上機支持台に作用する上向きの力を受けるレール支持梁、このレール支持梁上に支持されているガイドレール、巻上機の駆動により、ガイドレールに案内されて昇降路内を昇降する昇降体、ガイドレールにより支持されている回転自在の返し車、及び巻上機の綱車及び返し車に巻き掛けられ、ガイドレールに対して昇降体を吊り下げる主ロープを備えたものである。

【0013】請求項2の発明に係るエレベータ装置は、互いに対向してピット内に設置され、それぞれ開口部を有する一対の支持板と、両端部が開口部に挿入されている支持梁とを有する巻上機支持台を用いたものである。

【0014】請求項3の発明に係るエレベータ装置は、支持梁の上下面に対向し巻上機が固定されている固定梁と、支持梁と固定梁との間に介在されている弾性体とを有する巻上機支持台を用いたものである。

【0015】請求項4の発明に係るエレベータ装置は、レール支持梁に結合される結合部を有し、かつピット内に設置され、巻上機支持台が取り付けられている巻上機取付梁を備え、レール支持梁には、結合部が結合される受け部を設け、結合部は、受け部の下に挿入して受け部に結合したものである。

【0016】請求項5の発明に係るエレベータ装置は、巻上機支持台をレール支持梁に直接固定したものである。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図について説明する。

実施の形態1. 図1はこの発明の実施の形態1によるエレベータ装置の巻上機設置状態を示す正面図、図2は図1の巻上機設置状態を示す平面図、図3は図1のII-I線断面図、図4は図3のIV-IV線断面図、図5は図3のV部を拡大して示す分解斜視図である。

【0018】図において、21は昇降路1のピット1 a

に互いに平行に設置されているI形断面の一対のレール支持梁であり、これらのレール支持梁21は、アンカربولト22によりピット1 aの床面1 bに固定されている。2はレール支持梁21上に互いに間隔をおいて設置され、かご4（図9）の昇降を案内する一対のかごガイドレール、3はレール支持梁21上に互いに間隔をおいて設置され、釣合重り5（図9）の昇降を案内する一対の重りガイドレールである。

【0019】23は床面1 c上に互いに平行に設置されている断面コ字状の一対の巻上機取付梁であり、これらの巻上機取付梁23は、レール支持梁21に対して直角の方向へ延びている。また、各巻上機取付梁23の両端部には、レール支持梁21の下部に挿入された結合部23 aが形成されている。さらに、レール支持梁21には、巻上機取付梁23に作用する上向きの力を受ける複数の受け部21 aが設けられており、これらの受け部21 aに締結具24を介して結合部23 aが結合されている。

【0020】25は巻上機取付梁23に取り付けられ、巻上機8を支持している巻上機支持台であり、この巻上機支持台25は、互いに対向するように締結具27により巻上機取付梁23に固定され、開口部26 aが2つずつ設けられている一対の支持板26と、両端部が開口部26 aに挿通されている断面コ字状の一対の支持梁28と、これらの支持梁28の上下面に対向し巻上機8が固定されている固定梁29と、支持梁28と固定梁29との間に介在されている振動・騒音防止用の複数の弾性体（防振ゴム）30とを有している。

【0021】なお、主ロープ18の経路は、図9及び図10と同様であり、巻上機8の駆動により綱車9が正逆に回転されることによって、かご4及び釣合重り5がガイドレール2, 3に沿って交互に昇降される。

【0022】このようなエレベータ装置では、従来例と同様に巻上機8に上向きの力が作用するが、この上向きの力は、巻上機支持台25及び巻上機取付梁23を介してレール支持梁21の受け部21 aに伝えられる。このように、巻上機8に作用する上向きの力は、最終的にはレール支持梁21により受けられる。

【0023】これに対し、ガイドレール2, 3には、綱止め部材12, 13及び返し車14, 15が取り付けられているため、かご4の荷重や釣合重り5の重量が作用している。従って、レール支持梁21に伝えられた上向きの力は、ガイドレール2, 3に作用する下向きの力により相殺され、上向きの力は建物に作用しない。そして、エレベータ装置全体の重量が床面1 bにより支持される。即ち、ピット1 aの床面1 bに引き抜き力を作用させることなく、巻上機8をピット1 aに設置することができる。

【0024】また、支持梁28と固定梁29との間に弾性体30を介在させる構造の巻上機支持台25を用いて

おり、弾性体 30 の設置スペースが十分に確保されるので、弾性体 30 の大きさ、形状及び硬度等の選択の自由度が向上し、防振性能を向上させることができる。

【0025】なお、実施の形態 1 ではレール支持梁 21 と巻上機取付梁 23 との間、及び巻上機取付梁 23 と支持板 26 との間を締結具 24、26 を用いて固定したが、固定方法はこれに限定されるものではなく、例えば溶接してもよい。

【0026】実施の形態 2. 次に、図 6 はこの発明の実施の形態 2 によるエレベータ装置を示す平面図、図 7 は図 6 の装置を示す側面図、図 8 は図 7 の V I I I - V I I I 線断面図である。図において、31 はレール支持梁 21 に直接取り付けられ、巻上機 8 を支持している巻上機支持台であり、この巻上機支持台 31 は、互いに対向するように締結具 33 によりレール支持梁 21 に固定され、開口部 32 a が 2 つずつ設けられている一対の支持板 32 と、両端部が開口部 32 a に挿通されている断面コ字状の一対の支持梁 34 と、これらの支持梁 34 に支持され巻上機 8 が固定されている固定梁 35 と、支持梁 34 と固定梁 35 との間に介在されている振動・騒音防

止用の複数の弾性体（防振ゴム）36 とを有している。また、弾性体 36 は、支持梁 34 の上側では図 8 の右側に、支持梁 34 の下側では図 8 の左側に寄せて配置されている。

【0027】このように、巻上機取付台 31 をレール支持梁 21 に直接固定した場合にも、巻上機 8 に作用する上向きの力が、ガイドレール 2、3 に作用する下向きの力により相殺され、建物に上向きの力が作用しない。従って、ピット 1 a の床面 1 b に引き抜き力を作用させることなく、巻上機 8 をピット 1 a に設置することができる。また、巻上機取付台 31 がレール支持梁 21 に直接固定されているため、構造が簡単になり、部品点数が削減される。

【0028】但し、この構造では、支持板 32 間に架け渡される支持梁 34 の長さが長くなり、曲げモーメントが大きくなるため、レール支持梁 21 の間隔が小さい比較的小形のエレベータ装置に適している。

【0029】なお、図 8 に示すように、綱車 9 が巻上機 8 の端部に配置されている場合には、上向きの力 F により支持梁 34 と固定梁 35 との間に反力 f_1 、 f_2 が作用するが、このような反力 f_1 、 f_2 が作用する部分に弾性体 36 を配置してもよい。

【0030】また、実施の形態 2 ではレール支持梁 21 と支持板 32 との間を締結具 33 により固定したが、固定方法はこれに限定されるものではなく、例えば溶接により固定してもよい。

【0031】また、主ロープ 18 の配置は図 10 に限定されるものではなく、ピット 1 a に設置された巻上機に主ロープから上向きの力が作用するエレベータ装置であれば、この発明を適用することができる。

【0032】

【発明の効果】以上説明したように、請求項 1 の発明のエレベータ装置は、巻上機から巻上機支持台に作用する上向きの力を、ガイドレールを支持するレール支持梁で受けるようにしたので、レール支持梁に伝えられた上向きの力は、ガイドレールに作用する下向きの力により相殺され、上向きの力は建物に作用しない。従って、ピットの床面に引き抜き力を作用させることなく、巻上機をピットに設置することができ、床強度をます必要がなく、建築コストの増加を防止できる。

【0033】請求項 2 の発明のエレベータ装置は、互いに対向してピット内に設置され、それぞれ開口部を有する一対の支持板と、両端部が開口部に挿入されている支持梁とを有する巻上機支持台を用いたので、巻上機に作用する上向きの力に対して十分な強度を確保することができる。

【0034】請求項 3 の発明のエレベータ装置は、支持梁の上下面に対向し巻上機が固定されている固定梁と、支持梁と固定梁との間に介在されている弾性体とを有する巻上機支持台を用いたので、弾性体を配置するスペースを十分に確保することができ、弾性体の大きさ、形状及び硬度等の選択の自由度を向上させ、防振性能を向上させることができる。

【0035】請求項 4 の発明のエレベータ装置は、巻上機支持台を巻上機取付梁に取り付け、この巻上機取付梁の結合部をレール支持梁の下に挿入して結合するようにしたので、巻上機支持台に作用する上向きの力をより確実にレール支持梁に伝えることができる。

【0036】請求項 5 の発明のエレベータ装置は、巻上機支持台をレール支持梁に直接固定したので、構造を簡単にし部品点数を削減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 この発明の実施の形態 1 によるエレベータ装置の巻上機設置状態を示す正面図である。

【図 2】 図 1 の巻上機設置状態を示す平面図である。

【図 3】 図 1 の I I I - I I I 線断面図である。

【図 4】 図 3 の I V - I V 線断面図である。

【図 5】 図 3 の V 部を拡大して示す分解斜視図である。

【図 6】 この発明の実施の形態 2 によるエレベータ装置を示す平面図である。

【図 7】 図 6 の装置を示す側面図である。

【図 8】 図 7 の V I I I - V I I I 線断面図である。

【図 9】 従来のエレベータ装置の一例を示す正面図である。

【図 10】 図 9 の装置の主ロープの経路を示す展開図である。

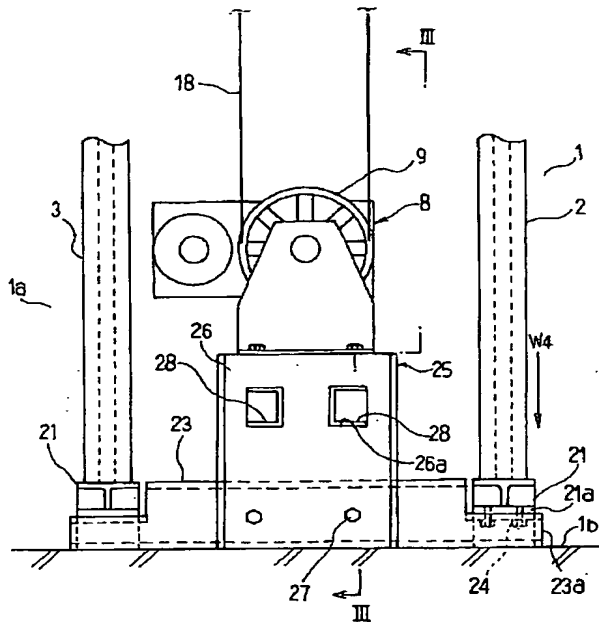
【符号の説明】

1 昇降路、1 a ピット、1 b 床面、2 かごガイドレール、3 重りガイドレール、4 かご（昇降

7

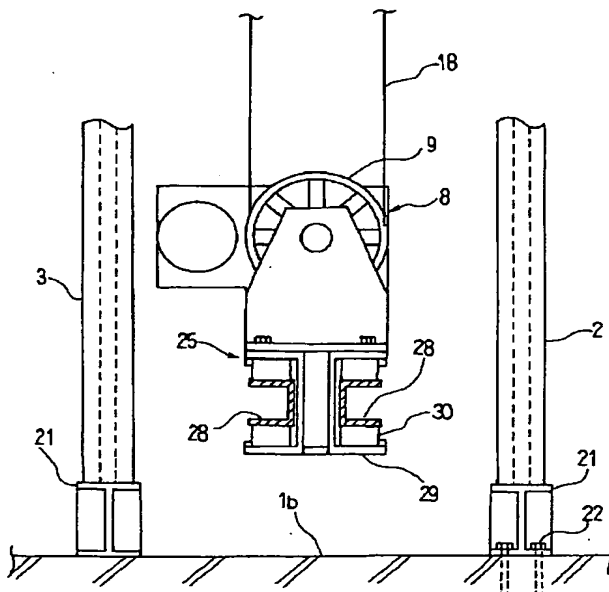
体)、5 釣合重り(昇降体)、8 巻上機、9 綱車、
14、15 返し車、18 主ロープ、21 レール支
持梁、21a 受け部、23 巻上機取付梁、23a

【図1】



1: 昇降路 9: 綱車 23a: 結合部
1a: ピット 18: 主ロープ 25: 巻上機支持台
1b: 床面 21: レール支持梁 26: 支持板
2: かごガイドレール 21a: 受け部 26a: 開口部
3: 重りガイドレール 23: 巻上機取付梁 28: 支持梁
8: 巻上機

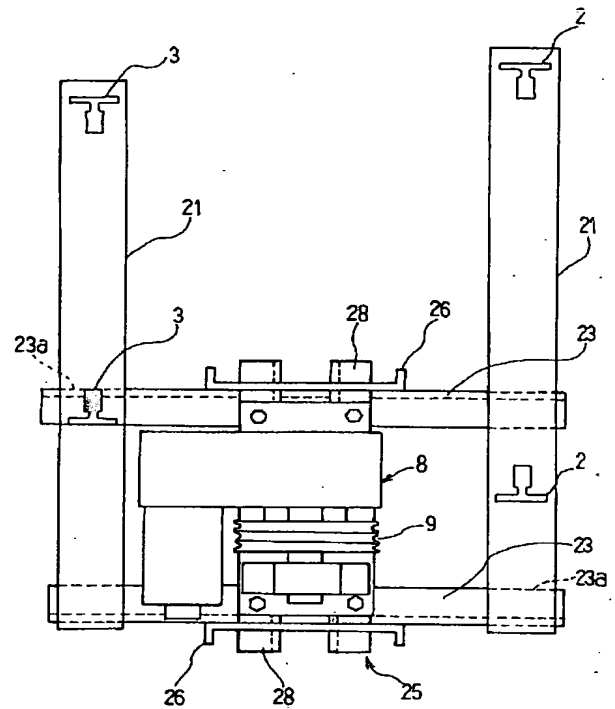
【図4】



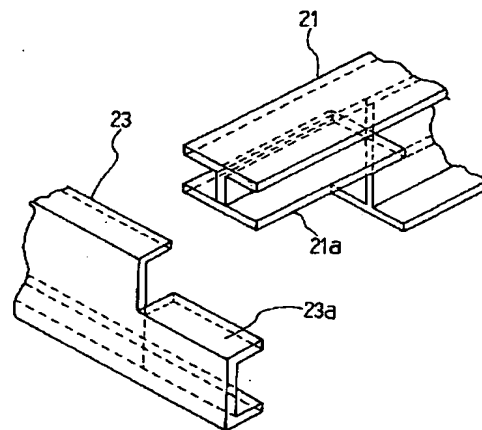
8

結合部、25、31 巻上機支持台、26、32 支持
板、26a、32a 開口部、28、34 支持梁、2
9、35 固定梁、30、36 弾性体。

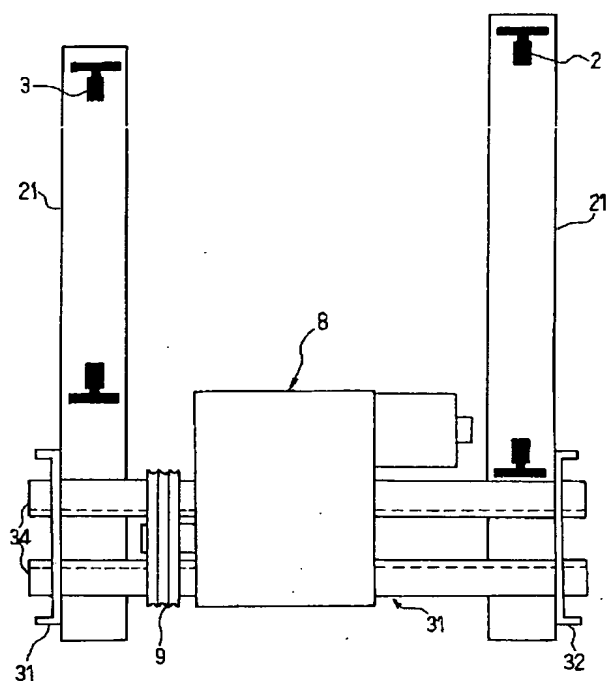
【図2】



【図5】

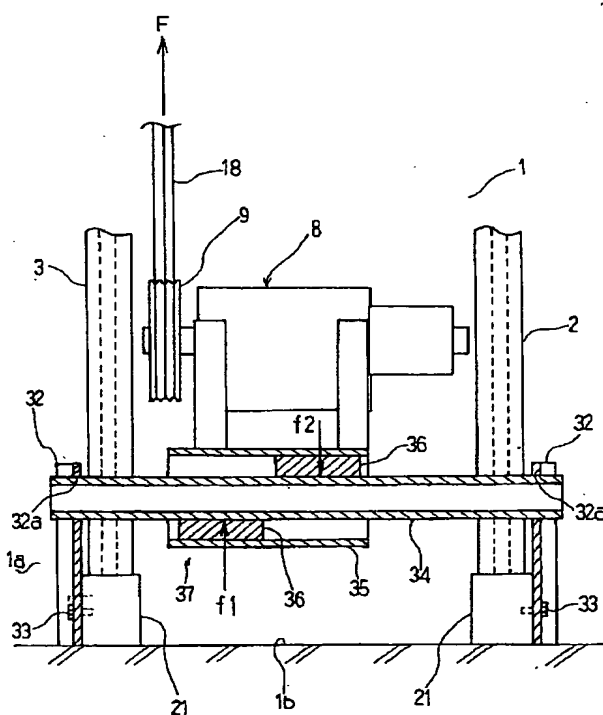


【圖 6】



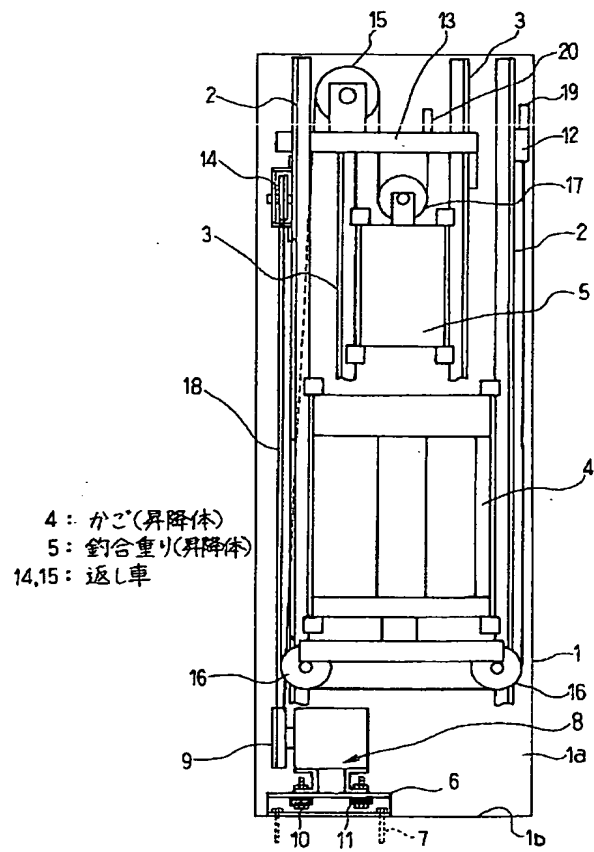
31 : 卷上機支持台
32 : 支持板
34 : 支持梁

【圖 8】

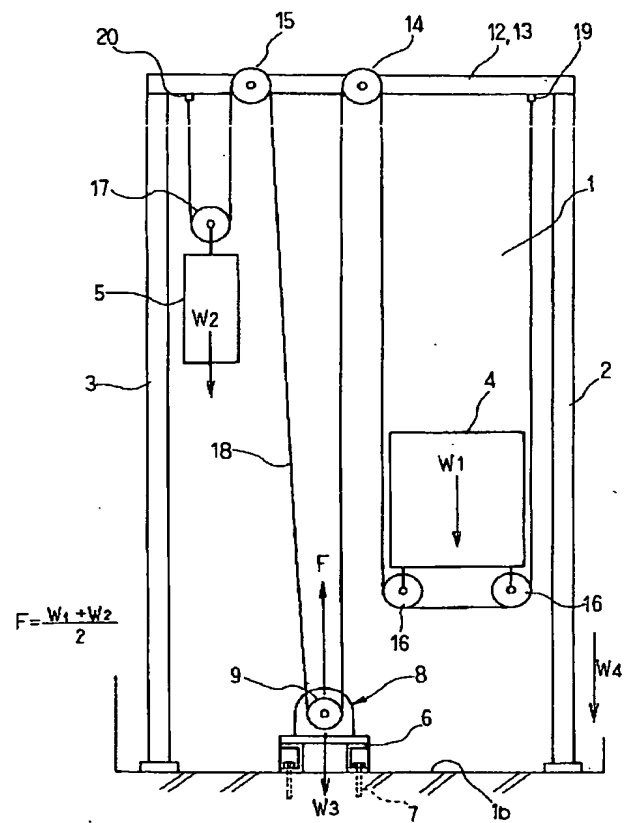


- 6 -

【図9】



【図10】



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第7区分
【発行日】平成15年3月12日(2003.3.12)

【公開番号】特開2000-26041(P2000-26041A)
【公開日】平成12年1月25日(2000.1.25)
【年通号数】公開特許公報12-261
【出願番号】特願平10-197317
【国際特許分類第7版】

B66B 7/00

7/02

【FI】

B66B 7/00 C
G
7/02 J

【手続補正書】

【提出日】平成14年12月5日(2002.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 昇降路内に設置されている巻上機支持台、
この巻上機支持台上に設置され、回転可能な綱車を有する巻上機、
上記昇降路内に設置され、上記巻上機から上記巻上機支持台に作用する上向きの力を受けるレール支持梁、
このレール支持梁に支持されているガイドレール、
上記巻上機の駆動により、上記ガイドレールに案内されて上記昇降路内を昇降する昇降体、
上記ガイドレールに案内されて上記昇降路内を昇降する釣合重り、
上記ガイドレールにより支持されている回転自在の返し車、及び
上記巻上機の綱車及び上記返し車に巻き掛けられ、上記昇降体と上記釣合重りとを吊り下げる主ロープを備えていることを特徴とするエレベータ装置。

【請求項2】 昇降路内に設置されている巻上機支持台、
この巻上機支持台上に設置され、回転可能な綱車を有する巻上機、
上記昇降路内に設置され、上記巻上機から上記巻上機支持台に作用する上向きの力を受ける重りレール支持梁、
上記巻上機の駆動により、上記昇降路内を昇降する昇降体、

上記重りレール支持梁に支持されている重りガイドレール、

上記重りガイドレールに案内されて上記昇降路内を昇降する釣合重り、

上記重りガイドレールにより支持されている回転自在の返し車、及び

上記巻上機の綱車及び上記返し車に巻き掛けられ、上記昇降体と上記釣合重りとを吊り下げる主ロープを備えていることを特徴とするエレベータ装置。

【請求項3】 昇降路内に設置されている巻上機支持台、

この巻上機支持台上に設置され、回転可能な綱車を有する巻上機、

上記昇降路内に設置され、上記巻上機から上記巻上機支持台に作用する上向きの力を受けるかごレール支持梁及び重りレール支持梁、

上記かごレール支持梁に支持されているかごガイドレール、

上記巻上機の駆動により、上記かごガイドレールに案内されて上記昇降路内を昇降する昇降体、

上記かごガイドレールと間隔をおいて設置され、上記重りレール支持梁に支持されている重りガイドレール、

上記重りガイドレールに案内されて上記昇降路内を昇降する釣合重り、

上記ガイドレールにより支持されている回転自在の返し車、及び

上記巻上機の綱車及び上記返し車に巻き掛けられ、上記昇降体と上記釣合重りとを吊り下げる主ロープを備えていることを特徴とするエレベータ装置。

【請求項4】 巻上機支持台は、開口部を有する一対の支持板と、両端部が上記開口部に挿入されている支持梁とを有していることを特徴とする請求項1ないし請求項

3のいずれかに記載のエレベータ装置。

【請求項5】 巻上機支持台は、支持梁の上下面に対向し巻上機が固定されている固定梁と、上記支持梁と上記固定梁との間に介在されている弾性体を有していることを特徴とする請求項4記載のエレベータ装置。

【請求項6】 巻上機支持台は、上記レール支持梁に直接固定されていることを特徴とする請求項1ないし請求項3のいずれかに記載のエレベータ装置。

【請求項7】 回転可能な綱車を有する巻上機、
上記昇降路内に設置され、上記巻上機に作用する上向き
の力を受けるレール支持梁、

このレール支持梁の上に支持されているガイドレール、
上記巻上機の駆動により、上記ガイドレールに案内され
て上記昇降路内を昇降する昇降体、

上記ガイドレールにより支持されている回転自在の返し
車、及び

上記巻上機の綱車及び上記返し車に巻き掛けられ、上記
昇降体を吊り下げる主ロープ

を備え、上記レール支持梁に作用する上向きの力は、上
記返し車から上記ガイドレールに作用する下向きの力に
より相殺されることを特徴とするエレベータ装置。